

南区 庄瀬地域コミュニティ協議会

活動名：地域の茶の間「庄瀬 BASE もくば」

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

庄瀬地域生活センターの利用者の減少（サークル活動の衰退、老人会の加入者の減少、地域の茶の間の世話役の減少）

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

地域生活センターを会場として月1回地域の茶の間を開催。
「居心地のよいスペース」となるよう施設の整備。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

なし

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域の茶の間が多世代交流の場となり、利用者が増加した。
様々なワークショップの開催やサークル活動、個人利用など多目的に利用されるようになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

月に1回の広報紙発行やSNSで行事の開催を告知・報告。
茶の間の開催日以外もフリースペースとして解放し、気軽に利用できるようにした。
レコードや図書の寄付、イベントの企画持込みを募集するなど、人との関わりを広げた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

茶の間の回数を増やし、利用者の増加・運営に関わる人材の発掘育成に努める。
コミ協の各部会と連携し、健康増進や防災防犯のための活動も取り入れる。



南区 鷺巻地区コミュニティ協議会

活動名：ひまわり植栽で景観美化活動

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

鷺巻地域生活センター体育館跡地に雑草が生い茂るようになり、通学路にもなっている道路沿いの景観が良くないので、景観美化活動に取り組む必要があると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

ひまわりを植栽するにあたり、土を耕作し、土の中に大量にあった石などを撤去しました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

大鷺保育園、白根郷土地改良区

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

殺風景だった場所が、ひまわりが咲いたおかげで明るくなり、道路沿いの信号待ちの車中から顔をのぞかせる人や、大鷺保育園児の散歩コースになり、子どもたちの笑顔が見られるようになった。2年目にしてようやく景観美化の効果が見え始めてきました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当初は土の状態が悪くなく、種からまいたひまわりが発芽しなかったので、苗を育ててから再度植栽をしたが、真夏の高温が続き、水が足りずに花を咲かせることができなかった。今年は新たに土をいれて土壌がよくなったおかげで水の管理もうまくでき、種からまいたひまわりを咲かすことに成功しました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

夏はひまわり畑、秋はコスモス畑で景観を良くして、地域の風物詩的な場所にしていきたいと考えています。また、花の咲いている環境づくりをすることで、人の心を癒して犯罪などが起こらない地域づくりをしていきたいと考えています。



南区 新飯田コミュニティ協議会

活動名：フロアカーリング教室・大会

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域住民、老若男女、誰でも参加でき、一緒に交流できる場が少ない。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

体育指導員と検討し、年齢に関係なく参加できるスポーツとしてフロアカーリングの推進を図るため、教室を開催し、成果を上げるため大会を開催した。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新飯田地区公民館、新飯田スポーツ振興推進委員会、新飯田小学校 PTA

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

世代を超えて交流ができた。健康に対する意識の向上。青少年の健全育成。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

毎週のフロアカーリング教室での指導員の確保、大会運営。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

ルールの指導を徹底し、運営自体を誰でも行えるように指導したい。



南区 月潟コミュニティ協議会

活動名： “市” 活性化事業

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

新潟交通電鉄が廃止されて公共交通の便が悪化。少子高齢化により高齢者世帯が増加し、商店街では商店・スーパーが相次ぎ閉店。高齢者世帯は日常の買い物に不便になった。月潟2, 7の市も年々買い物客が減り、出店者も減少している。このままではいずれ“市”もなくなって益々買い物が不便になり、高齢者の外出と交流が減り、その結果、認知症や寝たきり等のリスクが高まるのではないかと。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

まずは、“市”が継続していけるように活性化に向け、商店街にある空き店舗を利用し、“市”が開催される日に休憩所を設けた。休憩所では気軽に寄ってもらえるよう、お茶・コーヒーのサービスや菓子・トマトジュース・角兵衛獅子グッズの販売、また、健康チェックやギターの生演奏、新之助の販売等のイベントを行った。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域のボランティア、丸仙、JA 越後中央女性部、月潟を元気にする会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

休憩所でボランティアさんや買い物客同士でおしゃべりをすることを楽しみにしている人たちができた。ボランティアさんも地域の方もお互いに「気に掛ける」ようになった。

角兵衛獅子グッズの販売により他地域の人も訪れる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・ “市”の出店者と販売する品が被らないようにする。どんな物を販売するのか、仕入先等。買い物客のニーズの把握・価格帯の設定。
- ・ ボランティアの募集。
- ・ できるだけ今あるものを利用し、経費が掛からないようにした。
- ・ イベントの考案。どうしたら人を呼びこめるのか。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・ “市”の活性化というよりは、高齢者の居場所づくりや多世代の人の交流の場という福祉的な面を重点に活動していきたい。
- ・ 販売品にも変化を加えることで、気軽に休憩所に寄れるようにしていきたい。
- ・ イベント等を通じて他の団体とも連携し巻き込んでいきたい。

